

第1回演習の目標

・情報処理演習のガイダンス

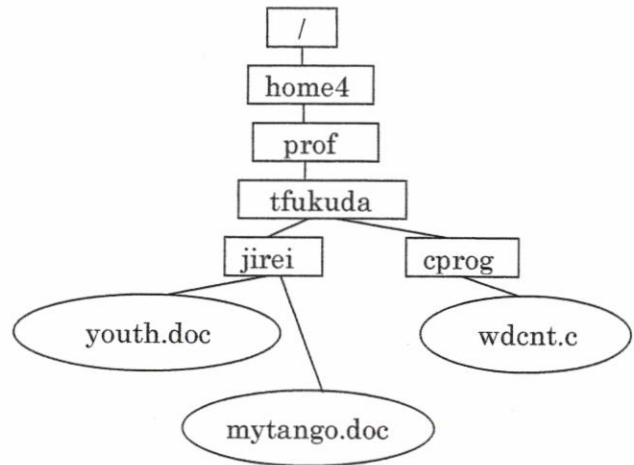
1・情報処理演習の概要（昨年の授業内容紹介）

【事例1】リナックス

- ① youth.doc ファイル作成
- ② mytango.doc ファイル作成

【事例2】C言語プログラム作成

- ① 作成 (wdcnt.c)
- ② コンパイル (cc wdcnt.c)
- ③ 実行 & wc コマンドと比較
(./a.out < wdcnt.c) (wc wdcnt.c)



2・成績評価基準

- (1) 小テスト結果
- (2) 出席状況
- (3) t t (タッチタイプ・トレーニング) 結果

等で総合的に判断する。

3・情報処理の基本方針（スライド）

休憩 選択しない学生は、退出する。

4・授業の進め方

- (1) 作業環境
 - ・マルチプラットフォームの Red Hat Linux を使う。
 - ・作業場所（ディレクトリ）は、USB メモリーを使う。
- (2) リハーサル（USB メモリーの取付け&取外し）
 - ① パソコンに、USB メモリーを挿す。（注意：リナックスは挿しただけでは、認識しません）
 - ② マウント・コマンドで USB を認識させる。
`mount /home/student/mem`
`ls /home/student/mem` …… USB の中身を確認する。
 - ③ 作業終了後、USB を取り外す。
`cd` …… 作業場所（ディレクトリ）を移動する。
`pwd` …… 確認
`umount /home/student/mem`
`ls /home/student/mem` …… 自分の USB の内容でないことを確認する。
 - ④ USB を抜き取る。